

令和7年度 情報通信部会からの要望事項および回答【和歌山県】

◆災害対策強化のためのトンネル内における難聴対策（FM 放送の再放送事業）について

AM ラジオを巡る動きは防災対策や難聴対策のため、先の FM 補完に引き続いて FM 転換を目指す動きが大勢となっている。全国の民放 AM ラジオ局 47 局中 44 局が令和 10 年秋までに FM 局への転換を目指している。

和歌山県では、県が事業主体となり国の予算を活用して FM 補完事業を実施された結果、災害対策・難聴対策は大きく進んだ。しかし、トンネル内における難聴対策のひとつである再放送においては、AM 放送は設備設置がかなり進んだものの、FM 放送は非常に遅れている。

全国的に AM 放送から FM 放送への流れが強まっている中、大型台風の襲来や集中豪雨などに加え、30 年以内に約 70%以上の確率で東南海・南海地震が発生すると言われてい
る本県において、遅れている FM 放送のトンネル内再放送は、防災対策上急務となっている。

高速道路の紀伊半島一周道路の整備における新たなトンネル建設時はもちろんのこと、阪和自動車道および京奈和自動車道を含めた既設のトンネル内においても、国や NEXCO 西日本に対し、災害対策強化のためトンネル内の難聴対策として FM 放送の再放送事業を強く働きかけていただきたい。

<和歌山県からの回答（高速道路推進室）>

国土交通省及び西日本高速道路株式会社が管理しているトンネルでは、FM 放送に対応した再放送設備はほとんど設置されていません。

今後、国土交通省においては、既設トンネルの再放送設備を機器の更新に合わせて FM 放送に対応していくことを検討していくとともに、新たに建設するトンネルについても FM 放送への対応を検討していくと聞いています。

西日本高速道路株式会社においては、現時点で供用中のトンネルや新たに建設するトンネルにおける FM 放送への対応は予定していないものの、放送事業者の FM 転換の状況により対応を検討していくと聞いています。

令和7年度 情報通信部会からの要望事項および回答【和歌山県】

◆被災時における効果的な情報受発信のためのフリーWi-Fiの整備促進

スマートフォンやタブレット等の無線 LAN 搭載の端末が普及し、今や無線 LAN は快適なワイヤレスブロードバンド環境の実現に必要不可欠となっている。

和歌山県におかれては、平成 27 年に「和歌山フリーWi-Fi 大作戦」として Wi-Fi 整備に要する経費支援を行っていただき、商店街や飲食店、宿泊施設等に Wi-Fi が導入され、接続環境の向上に努めていただいた。

昨年度は“和歌山を訪れる観光客を意識したフリーWi-Fiの整備促進”として、新たなニーズに対応した Wi-Fi の更改、更なる面的拡大を要望し、県からは「2025 年大阪・関西万博等に向けて観光関連施設における Wi-Fi 整備の更なる拡大に取り組む」と前向きな回答をいただいた。

なお、フリーWi-Fiは訪日観光客からの需要が高いことだけでなく、災害時に効果的に情報を受発信できる手段として有効であると考えられているため、更なる面的拡大について非常に期待している。

そこで、行政だけの力では難しいこともあるかと考えるため、技術面等において情報通信分野に長けた民間事業所と積極的に連携し、県内のフリーWi-Fiの整備促進に取り組むことを考慮いただきたい。

<和歌山県からの回答（観光交流課・地域振興課）>

フリーWi-Fiの新たな整備により外国人を含む観光客の受入環境の向上を図るなど地域資源を生かした観光地域づくりに取り組む市町村への補助制度について、その活用を案内してまいります。